

12月2日

半国山

平尾 繁和

山名	半国山 (774m)	山行名	例会			
ルート	赤熊バス停→牛つなぎ広場→半国山→金輪寺→宮川バス停					
山行日	12月2日	天候	晴れ			
参加者	CL: 平尾 SL: 和田 男性: 赤松、西川 (榮)、西川 (洋) 女性: 伊藤(典)、伊庭、上田、大林、倉光、吉澤 合計: 11名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時:分	地名		時:分
	京都駅	集	7:15	半国山	着	11:15
		発	7:21		発	12:00
	亀岡駅	着	7:48	金輪寺	着	13:50
		発	8:01		発	14:30
	赤熊バス停	着	8:35	宮川バス停	着	15:00
		発	8:35		発	15:28
登山口	着	8:40	亀岡駅	着	16:03	
	発	8:50		発		
牛つなぎ広場	着	10:38		着		
	発	10:50		発		
<p>保津峡あたりから霧が立ち込め紅葉した木々が浮かびあがり、好天を予想させてくれる。ほぼ貸切状態のバスを赤熊で下車。林内に入る手前でコース説明と準備体操。ゲートを開けて音羽溪谷をいく。荒れた石ごろごろの道を右に左に迂回をしてすすむ。音羽の滝など3か所滝を左に見て通過、水量は少なかった。タカノツメやコシアブラの紅葉した落葉があちこちに見られた。立ち休憩をこまめにはさみながら、烏帽子山への道を右に見送り、谷筋を登り切り「牛つなぎ広場」の看板がある広い平坦地に出る。右に烏帽子山への道、先にはるり溪への道が分かれている。ヤママップの地図を見ると、広場の位置が半国山寄りの登りの途中になっていて違っていた。落葉の積もった道を半国山へひと登り。11時15分山頂に着く。播州、丹波、摂津の国が半分ずつ見えるという山名のとおり展望がよい。亀岡方面の下界には一部霧が残っていた。地図を広げ山座同定、東に行者山、三郎ヶ岳、牛松山など亀岡の山、その奥に愛宕山。南に剣尾山やポンポン山が望めた。山頂は、山麓の10ヶ寺によって建立された不動明王の石碑があり、かつて雨乞いの儀式や供養祭がされていたと本にある広々としたところ。ゆっくり休み地質調査に来たという人に話をきき、集合写真のシャッターを押してもらおう。下り(宮川コース)は凹凸の少ない歩きやすい道が続く。小春日和のような穏やかな天候のもと下る。金輪寺の手前で、旧道を右に見て真直ぐに登っていく。途中10基の歴代住職の石の墓が林の中に静かにあった。金輪寺でバスの時間調整、おやつをいただきながらゆっくりと過ごす。参道を下りだしたところで、大きなイチョウとカエデの黄紅葉が斜光を浴びきれいに輝いていた。下見の時に大きく抉られ石が露わだった参道も、どこが荒れていたのかわからぬほどきれいに整備されていた。宮川神社の先でゲートをでて、バス停に向かった。累積標高差が約770~780mほどでコース定数が20のコースでした。</p>						
ヒヤリハット						
なし						



感想文

○半国山「丹波の国の半分が見える」ことから名付けられた山、赤熊コースから音羽溪谷に沿っての登り大きな岩がゴロゴロ注意して歩く頂上からの景色は最高です。愛宕山、今年3月に登った剣尾山も見える。太陽の光で背中が心地よい、小春日和の穏やかな一日でした。下見山行されたCL平尾さん、SL和田さんお世話になりました。ありがとうございました。

赤松 隆二

○案内板には半国山ハイキングコースとありましたが、ゴロゴロ石の段差がキツイ道が続き、頂上まではずっと登りだったので、しっかり登山コースであったと思います。全体的にゆったりとした時間配分で、おまけに12月とは思えない小春日和の晴天に恵まれ、心はルンルン、十分にハイキング気分を楽しめました。担当者さま、お世話いただきありがとうございました。

伊藤 典子

○半国山、今思い出しても音羽の溪谷を上へ上へと登っていく。水の流れる音やゴロゴロと大きな石。下山はゆるやかな落葉を踏みしめながらでした。登って嫌な山がなくいつも楽しく自然の中を歩くのは良いなあと健康と山友会の皆様に感謝です。ありがとうございます。

伊庭 敬子

○行きの登山道はそばを流れる沢より荒れていて岩を右に左に避けながら登って行き帰りはバスの時間に合わせて途中のお寺でゆっくりティータイムなどとても楽しい山行でした。12月とは思えない暖かい1日で楽しい山行でした。ありがとうございました

上田 秀子

○ありがとうございました。亀岡の近くに滝があり、ハイキングコースで見晴らしがよく 180 見渡せお天気もよく 12 月とは思えない温かい日差しでゆっくりとした山でした。平尾様和田様に御礼を申し上げます。また宜しく！

大林 京子

○山友会の出戻り第二弾は亀岡の半国山。まずは地元の周辺部を固めることにする。半国山は 774m で、初心者同然の私には、手ごろな山と踏んでのことだ。過日の台風で川が氾濫し、川に沿ってある山道は岩がゴロゴロして、荒れていたが、リーダーの事前の下調べによる入念なガイドのおかげで、岩の坂道をポイポイと快適に登ることができた。地形も何か面白さを秘めているようだった。 コルからは広い尾根（普通は狭い）が頂上まで長く続く。お坊さんや戦国武士が、こんな地形を放っておくわけがない、昔何かに利用されたのではないかと勝手な想像をめぐらしながら登っていく。半国山の頂上に立つと、眼下に広がる広大な景色が素晴らしい。ポコポコと点在する山々にくっついている小さな村々、ところどころに朝霧の名残がベールとなってかぶさっている。とても詩的な風景だった。これだから、山登りはやめられない。リーダーのお二人、皆様ありがとうございました。

倉光 展子

○市民秋山登山の青葉山山行では、膝痛がたいした事もなく楽しめたのに味を占め、平尾CLに無理を言って参加を了承頂いた。保津峡駅の手前から霧に気付いた。でもお蔭様で登山口をスタートする頃はお日様も差し込み出した。12 月にしては、温かく好天にも恵まれ、頂上では、名前の由来にもなっている、丹波の山々の眺望を 360 度楽しめた。登りも下りも其々に個性豊かな山道で超楽しかった。24,000 歩！！お蔭様で膝痛もたいした事はなく、皆様になんとかご迷惑をかける事もなく、山行を終えられ一安心！！CL/SLさん、並びに同行の皆々様、本当に有難う御座いました！！

西川 榮治

○下見に行かれた時よりは、かなり整備されたそうで往きの音羽溪谷は落葉のなか気持ち良く歩けました。頂上では雲海が見えるか期待したのですが残念でした。お昼休憩をたっぷり取って下がりゆっくり展望を楽しめました。ありがとうございました。

吉澤 珠美

○平尾CLと下見に行ったのは10月の初旬の大雨の後でした。道はひどく荒れて倒木や大きな石が道をふさいでいたので心配しましたが、2か月经って大分整備されて、下見も本番も前後が雨という天気でしたが、当日は晴天に恵まれやはり晴れ女？と天気だけには自信を深めました。山頂近くになると、枯葉が積もった道をゆったりと歩いて時間の余裕もあったので、晩秋の程良い山行を楽しめました。山頂では京都の方向と大阪・兵庫の山々がグラデーションに重なり素晴らしい景色でした。出会った登山者は頂上に地元の方一人、下山の途中に犬連の女性と二人連れとすれ違ったくらいでした。休日でも登山者が少ないと思ったものでした。皆さんと無事に帰宅でき、楽しい山行をありがとうございました。

和田 千恵